

看護師や保育士 賃上げする方針 「新しい資本主義」提言案

岸田文雄首相が掲げる「成長と分配の好循環」に向けて議論する「新しい資本主義実現会議」（議長＝岸田首相）による緊急提言案が5日、わかった。看護師や保育士らの賃上げ方針や、賃上げに積極的な企業への支援策などが柱。19日にも取りまとめる「数十兆円規模」の経済対策や、年末に決める来年度の当初予算案に反映させる方針だ。

提言案は「未来を切り拓く『新しい資本主義』とその起動に向けて」。格差是正を図り、持続可能な資本

主義の構築をめざすとし、「成長と分配の好循環」に向けて取り組む優先施策をまとめた。

「分配」政策では、「人」への投資として賃上げが主軸となる。看護師、介護福祉士、保育士らの収入増に向けて議論する「公的価格評価検討委員会」を設置し、抜本的な見直しを表明。合わせて迅速な対応が必要とし、当面の措置として処遇改善加算を検討し、来年度予算案に盛り込む。

また雇用者の処遇改善につなげようと、賃上げに積

極的な企業への税額控除率の引き上げをめざす。さらに赤字の中小企業の賃上げ支援も必要だとし、補助金の要件に新たに賃上げを考慮することも検討する。

分配の原資に充てる「成長」戦略では、10兆円規模の大学ファンドの運用を年度内にスタートさせるとした。また、デジタル社会の構築に必要な半導体の確保に向け、世界的半導体メーカーの日本進出の支援や制度整備を急ぎ、サプライチェーン（供給網）の強靱化を図る。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で落ち込んだ観光産業を支援するため、「G.O.T.O.トラベル」の再開も検討する。ワクチン接種証明や陰性証明を活用するなど、安全安心を確保しつつ準備を急ぐ方針を盛り込んだ。（戸田政考）